

共用機器のさらなる活用を目的とした技術セミナーの他に、学内需要の把握等を目的とした未導入の機器の紹介セミナーも実施していきます。
Mail: kasumikiki@ml.hiroshima-u.ac.jp

PacBioの「HiFiロングリードシーケンス」アプリケーションのご紹介および新機種のご案内

■開催日時: 2026年7月23日(木曜日) 17時～18時

■場所: 霞キャンパス 凌雲棟3階 R302 / Web(zoom) ※ハイブリッド開催

■申込: 下記URLまたはQRコードからお申込みください。

<https://forms.cloud.microsoft/r/5xcigk89YR>

※フォームでお申し込みの方にセミナーIDをお知らせします。

※お申込みいただいた方には後日、セミナー録画をお届けいたします。

当日ご都合のつかない方もぜひお申込み下さい。

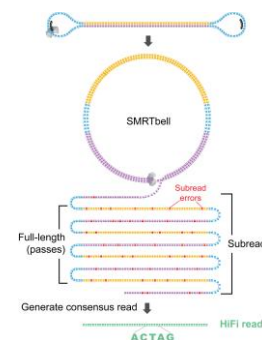
■詳細

・プレゼンター: 勝又 啓史(Field Application Specialist)

・アジェンダ:

HiFiリードの技術概要と優位性について
アプリケーションのご紹介

Vegaシステムの特長(ランコスト、スケーラビリティなど)



ロングリードシーケンシングは、10年以上にわたり、微生物からヒトに至るまでゲノミクス分野の基盤技術として活用されてきました。

PacBioの「HiFiロングリードシーケンス」は、業界最高水準の精度で最大25kbのリード長をシーケンスできる技術です。

従来のシーケンス技術では検出が困難だった、構造変異、タンDEMリピート、メチル化、トランスクリプトームのアイソフォーム解析にも対応可能となっております。



本セミナーでは、新製品 ベンチトップ型ロングリードシーケンサー「Vega」の紹介に加え、PacBioの最新情報や主要な論文を取り上げ、ロングリード全長DNA解析、メチル化解析、全長mRNAシーケンス(アイソフォーム検出)、微生物、全長16S解析、などについて解説いたします。
ロングリード技術に初めて触れる方も是非ご参加ください。

■共催



Digital Biology®

トミーデジタルバイオロジー(株)

担当: 矢放

Mail: kazutake_yahanashi@digital-biology.co.jp

■問合せ先

コアファシリティマネジメントセンター機器共用・分析室(霞)

E-mail: kasumikiki@ml.hiroshima-u.ac.jp

Tel: 082-257-1510 (内線6170/6870)

(旧 自然科学研究支援開発センター)

※本セミナーの申込フォームでご登録いただいた個人情報は個人情報法に基づき本セミナーの目的以外では使用いたしません。

※取得した個人情報は本セミナーの共催企業とその販売代理店とで共有されることを予めご了承ください。